



授業用シナリオ

ライン無し:セリフイメージ

黄色ライン:準備等

青色ライン:時間調整用

準備物

- ・ワークシート
- ・黒板に貼れるようなホワイトシート
- ・水性ペン
- ・可能であればソース、大さじスプーン、紙コップ、2Lペットボトルなど

時間

シナリオ

I. 導入 (3分)

(自己紹介)

今日はみなさんに「生活排水」についてお話ししていきます。
まず質問です。みなさんは生活排水って聞いたことはありますか？
聞いたことあるよ、という人？

(挙手しながら質問し、児童たちにも挙手を促す)

「生活排水」とは、みなさんが生活する中で出る汚れた水のことです。
では、次の質問です。大さじ1のソースが入った水を、魚が住める水質にするためには、
どれくらいの水が必要だと思いますか？
ソースと同じ、大さじ1くらいだと思う人？
もう少し多い、コップ1杯くらいだと思う人？
もっと多い、2Lのペットボトルくらいだと思う人？
では、もっとたくさん、お風呂一杯分の水がいると思う人？

(挙手しながら質問し、児童たちにも挙手を促す)

なぜこのような質問をしたかと言うと、みなさんは生活する中で、台所やトイレ、
お風呂など、毎日水を使っているからです。
この使った水がどれくらい汚れていて、その後どうなっていくのかを、今から再生する動画で
確かめてみましょう。

(動画再生)



II. 動画視聴 (12分)

12:19まで視聴し、一時停止。

(II-4. 生活排水対策について(ワーク①まで))



Ⅲ. ワーク①
(5分)

ここまで動画を見てきました。
ここまでで何か質問はありますか？

(あれば2、3人)

先ほども言いましたが、「生活排水」は私たちが生活する中で出る汚れた水ということが分かりましたね。
また、かっぱ先生が言っていたように、私たちがお風呂やトイレで使った水は、下水道や浄化槽できれいに処理されてから川や海に流れていることも分かりました。
ただし、下水道や浄化槽できれいになるからといって汚れた水や油などをたくさん流してしまうと、下水道や浄化槽でうまくきれいに処理できなくなり、川や海を汚す原因になる、とも言っていましたね。

【ワーク①】

では、動画の最後でかっぱ先生から出た問題です。
どのようなことが水を汚してしまう原因になるでしょうか？

(手を挙げて答えてもらう)

(5分ほど)

●●や■■など色々な答えができました。
他にもどのようなことがあるのか動画の続きを見ていきましょう。

(動画再生)

動画再生
(1分)

12:55 まで視聴し、一時停止
(Ⅱ-4. 生活排水対策について (ワーク②まで))



みなさんに答えてもらった他にも

(枠内についてワーク①で出なかったものを読み上げる)

- ・天ぷらに使った油を台所に流す
- ・残った牛乳や味噌汁を台所に流す
- ・洗剤やシャンプーをたくさん使う
- ・食べ残しや野菜の皮などをそのまま排水口へ流す

などがありました。

私たちの生活の中で色々なことが水を汚す原因になることが分かりましたね。
では、川や海をきれいにするために私たちに何ができるかグループで考えてみましょう。

IV. ワーク② (20分)

(ワークシート8分)
(発表、ワークまとめ12分)

【ワーク割り当て】

- ①台所でできること
- ②お風呂場でできること
- ③トイレでできること
- ④洗濯するときに見えること

※グループごとに①～④のどれを考えるか割り当てる
(事前にホワイトシートに①～④の番号を書いておくとい)

【ワーク②】

みなさんグループになってください。

(ホワイトシートを配る)

各グループに①～④の数字が書かれたホワイトシートを配りました。
みなさんは、ワークシートの中の、ホワイトシートと同じ数字の枠について
グループで話し合ってください。

例えば、①のホワイトシートを持っているグループは、
ワークシートの「①台所でできること」について考えてください。

まずグループで話し合いながら、自分のワークシートに書き込んでください。
その後、ホワイトシートにもみなさんで考えたことを書いてください。

この後グループの誰か1人にホワイトシートを持って前で発表してもらうので、
誰が発表するかも話し合いの間に決めてください。

ワークシートやホワイトシートに書く内容は箇条書きで構いません。

例えば①の「台所でできること」だと、油を流さないようにする、
というように考えてください。何個書いてもいいですよ。

話し合いの時間は●時●分までです。

それでは、はじめてください。

(7 ～ 8 分ほど)

【発表】

①～④についてそれぞれ各グループより発表

時間になりましたので、各グループで発表する人は
ホワイトシートを持って前に出てきてください。

まだ終わっていないグループも、できたところまで大丈夫です。

発表する人は、自分たちのグループで考えたことを発表してください。

それ以外の人は、他のグループの発表を聞いて、
ワークシートの①～④までを埋めていってください。

それでは●●のグループから発表をお願いします。

(発表の終わったグループのホワイトシートを黒板に貼り付ける)

IV. ワーク② (20分)

(ワークシート8分)
(発表、ワークまとめ12分)

【ワークまとめ】

発表の内容について講評・補足する

各項目について、普段みなさんがお風呂やトイレでどのようなことをするか考えるとイメージしやすかったと思います。

また、みなさんが考えてくれたことは、どれもそんなに大変なことじゃないですね。生活排水をきれいにすることは、ちょっとした心掛けでできることが分かりましたね。

みなさんが発表してくれたことの他にも、

例えばこんなことが水をきれいにするのにつながります。

(枠内についてワーク②で出なかったものを読み上げる)

①台所でできること

- ・食べ物を残さない。食べきれる量・飲み切れる量だけにする
- ・食器や鍋の汚れは洗う前に拭き取る
- ・残った油を流さない。固めたり、新聞紙などで吸ったりしてからゴミ箱に捨てる
- ・食べ残しや生ごみを流さない。三角コーナーや排水口ネットを使う
- ・洗剤は適量使う

②お風呂場でできること

- ・シャンプー、リンス、ボディーソープは適量使う
たくさん使っても洗浄力が高まるわけではない
- ・お風呂の洗剤は適量使う

③トイレでできること

- ・トイレットペーパーを使いすぎない
- ・トイレ用の洗剤は適量使う

④洗濯するときでできること

- ・洗濯の洗剤、柔軟剤は適量使う

<※時間があれば実施>

では、ワークシート⑤の「他にもできることはあるかな？」の項目についても考えてみましょう。どんなものがあるか思いつく人？

(手を挙げて答えてもらう)

(回答例)・車を洗うとき洗剤を適量使う

- ・ゴミ拾いをする
- ・川にゴミを捨てない
- ・田んぼ・畑では農薬を適量使う

それでは、かっぱ先生の最後のお話を聞いてみましょう。

(動画再生)

動画視聴
(2分)

(Ⅱ-4. 生活排水対策について (最後まで))

(動画終了)

大和川水環境協議会 大阪府域連絡会

V. まとめ
(2分)

【まとめ】

私たちが使った水は下水道や浄化槽によって処理された後、川や海に流れ、太陽光によって蒸発して、雲となり、雨となって流れ、また川や海に流れるという風に循環していることが分かりました。

最初に質問した内容をもう一度聞きます。

生活排水とは何でしょうか？説明できる人？

(挙手しながら質問し、児童たちにも挙手を促す)

では、大さじ1のソースが入った水を、魚が住める水質にするためにはどれくらいの水が必要でしたか？

大さじ1くらいだと思う人？

コップ1杯くらいだと思う人？

2Lのペットボトルくらいだと思う人？

お風呂一杯分くらいだと思う人？

(挙手しながら質問し、児童たちにも挙手を促す)

そうですね。このように、私たちが少しの水の汚れに感じるようなことでも他の生き物にとっては生きていけなくなるくらいの汚れにつながる可能性があります。

将来にわたってより川や海をきれいにしていけるよう、みなさんが考えてくれたことについて、普段の生活の中で取り組んでいきましょう。

<※時間がない場合>

ワークシート⑤や⑥については、今日みなさんに学んでもらった生活排水について家族や友達とお話ししながら、一緒に考えてみてくださいね。

<※時間がある場合>

それでは最後にワークシート⑥の「今日からわたしは」について考えてみましょう。今日からやろうと思うことを1つ、書いてみてください。

書けましたか？今日学んだように、川や海をきれいにするためにできることはたくさんあります。

(可能であれば数名発表)

みなさん1人1人、普段の生活の中でできることを心掛けてみてください。